

2019年8月3日(土)、本校にて日本学術振興会との共催プログラムである「ひらめき☆ときめきサイエンス～木材を溶かして使う、新しい上手な使い方～」を開催しました。

当日は高校生14名、中学生1名、実施担当教員として森林科学科の宮藤教授、古田教授、長島准教授、神代准教授、糟谷助教、細谷助教が参加しました。

プログラムの主な内容として、長島准教授、糟谷助教がキャンパス内の樹木観察を行い、宮藤教授が木質バイオマスに関する講義、木材細胞の観察、木材をイオン液体により溶かす実験を行いました。その後、プログラムの最後に、全員に未来博士号の授与を行いました。



キャンパス内の樹木観察



バイオマスに関する講義



木材細胞の観察



クッキータイム



未来博士号の授与

プログラムに関するアンケートには、「とても楽しかった」、「実験が本格的で面白かった」「自分の中で「木」というものの可能性がぐっと広がった」「講義が分かりやすかった」などの嬉しいお言葉をいただき、森林科学や研究に対する関心を高める機会を提供できたのではないかと考えております。

お暑い中、ご参加、ご協力いただきました皆様に御礼申し上げます。